

学校教育目標

あしたに向かって ～行くのが楽しくなる学校～

研究主題

本気で学び，豊かに表現しようとする子どもの育成
～学びのプロセスを価値付ける子ども主体の授業づくりを通して～

めざす子どもの姿

本気で学ぶ

子ども

ねばり強く学ぶ

子ども

豊かに表現合う

子ども

学ぶことに興味や関心を持ち，自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。

- ・ 大学と協働して，教科の本質を踏まえた教材研究を行う。
- ・ 単元を貫く問いを設定し，そこから山場に向けて，単元を構成していく。
- ・ 子どもの声が残る板書づくりを意識し，毎週板書を振り返ることで，ファシリテート力を付ける。

子ども同士，教職員や地域の人，先哲の考え方とねばり強く対話することを通して，自己の考えを広げ深める学びの創造。

- ・ ペアやグループで何を学び深めるか整理し，協働的な学びの中でねばり強く相手の考えを受け取ろうとする姿を価値付ける。
- ・ 子どもと共に創造した学びのプロセスを振り返り価値付けることで，学びに連続性と意味をもたせる。

仲間の考えを受け取りながら，自分自身の思いや考えを豊かに表現する学び。

- ・ 豊かに表現し合っている児童の姿はどのようなものか，教職員がお互いの授業を開くことで，子どもの姿を見取る教師の力を磨き合う。
- ・ 学習集団づくりや教室の学びが蓄積される掲示物の工夫。

お互いを認め合う互恵的な学習集団づくり

日々の授業で子どもを育てる！
国語科・算数科を中心とした授業づくり

学びの土台

「聞く」の徹底
「読む・書く」の指導

思考が残るノート指導・作文指導などを行い，「聞く」「書く」「声を出す」が日常的に行われているか意識して指導する。

個別の知識・技能を高める取組

各学年で付けなければならない力を明らかにして，一年間を見通して個別の知識・技能を高めていく。

家庭学習の充実

「めあて」「ふりかえり」を大切にしたい家庭学習の取り組みを行い，学び方にも価値を置いて指導していく。